

# 油圧ブレーカシリーズ

超低騒音油圧ブレーカ  
“S” SERIES

最新型油圧ブレーカ  
“TOPV”  
SERIES



油圧ブレーカ  
“TOP”  
SERIES

超低騒音油圧ブレーカ  
“TOPV-SS”  
SERIES

*hydraulics breaker*





価値を高めるのは、  
経験と技術力。

## OKADA 油圧ブレーカ

### ブレーカの先駆者

---

世界初の空圧ブレーカを世に送り出して50年。

半世紀に渡り、変遷する時代の要請に応じた商品をお客様に提供し続けています。

豊富な知識と実績がモノづくりのコンセプトに深く息づいています。

### 信頼のサービス体制

---

オカダ独自のサービス体制で、地域に根差した親切な納入指導から充実のアフターサービス・迅速な部品供給まで、丁寧・スピーディに対応いたします。



# 洗練された テクノロジーの結晶！

## TOPシリーズ

### アキュムレーター

強力な打撃パワーを発揮するアキュムレーター搭載タイプ (TOP-205～)。ショベルの負担を軽減する機構を採用し、耐久力にも優れています。

### コントロールバルブ

コントロールバルブをブレーカ本体に内蔵させることにより、構造がシンプルになり、軽量化を実現しました。(～TOP-60)。

### ピストン

ピストン上部に封入された低圧ガスのクッション効果により、さらに打撃力が強力になりました。

## TOPVシリーズ

円筒形状の採用でボルトレス化を計り、極限までメンテナンスフリーのブレーカとなりました

### 主な特徴

- サイドロッド・フロントボルトレス
- ライナー方式の採用  
※シリンダー部・バルブ部
- プッシングの一体化※チゼル周り
- ブラケットは円筒形一体化を採用し、従来機に比べ静かな標準機となりました。  
※超低騒音タイプSSシリーズもラインナップ

# 油圧ブレーカ 30年の実績とノウハウの集大成 OKADA “TOP” SERIES



**TOP-11 TOP-18 TOP-22 TOP-32 TOP-60A TOP-100B TOP-203B TOP-205J**

小規模破碎作業に適した

## 小型油圧ブレーカ



中・小規模の土木工事、都市土木工事などに活躍します。  
コンパクトタイプで、強力な打撃力を持ち、特に狭い現場で威力を発揮します。

中規模破碎作業に適した

## 中型油圧ブレーカ



力強さと機動性を兼ね備えた中型ブレーカ。  
大型土木工事から、ビル解体、砕石小割など、さまざまな用途に対応できます。

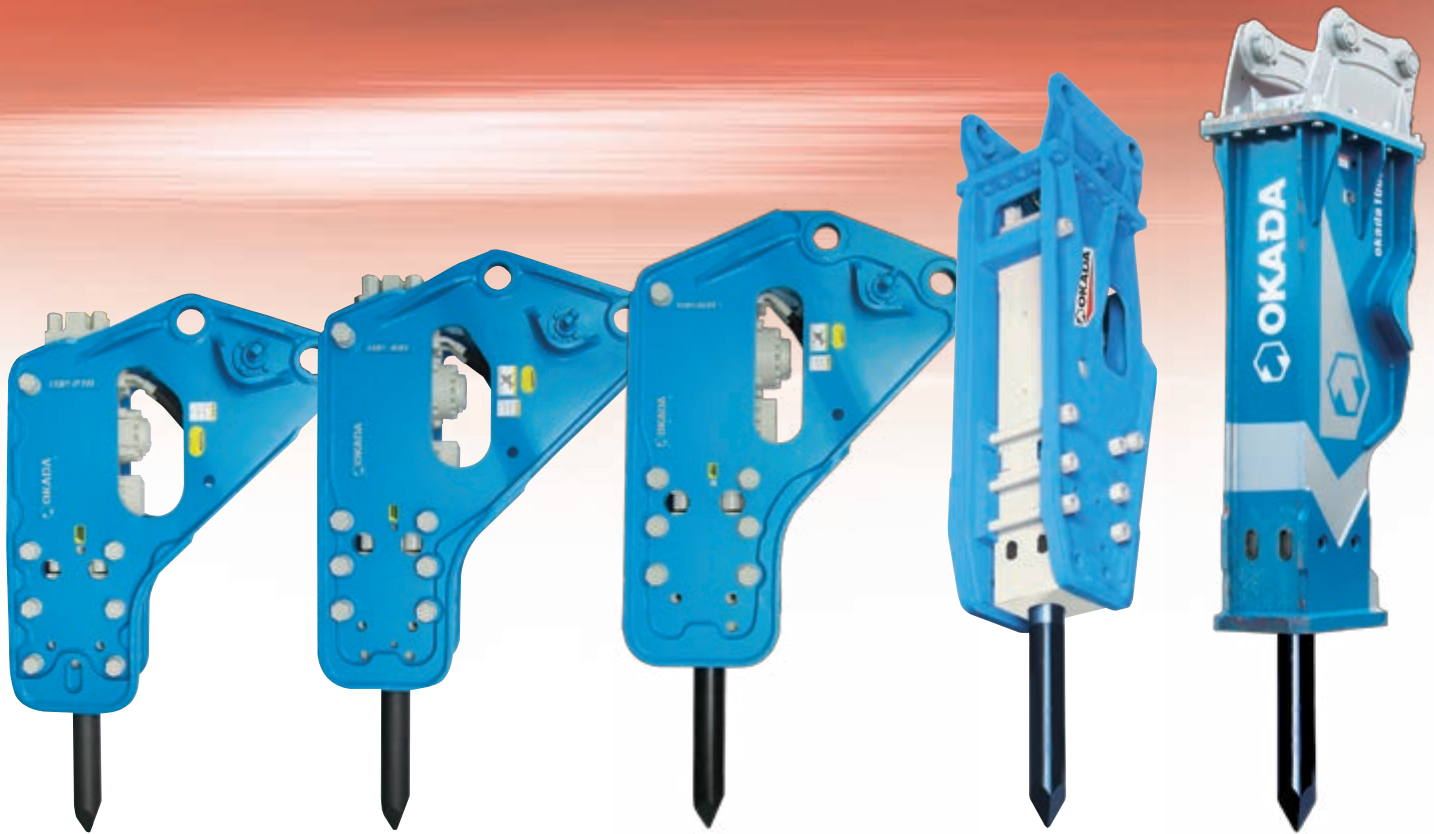
### 仕様

	TOP-11	TOP-18	TOP-22	TOP-32	TOP-60A	TOP-100B
	ノンアキュムレータータイプ					
総質量(ブラケット・チゼル付) [kg]	60	80	100	188	420	850
全長(ブラケット・チゼル付) [mm]	907	979	978	1196	1570	1939
全幅(ブラケット先端) [mm]	148	182	184	134	170	384
作動油圧 [MPa]	6~13	9~12	9~12	11~16	12~16	14~18
消費油量 [ℓ/min]	12~25	15~30	15~35	35~50	48~80	80~115
打撃数 [bpm]	800~1200	800~1400	550~1000	850~1150	730~970	550~710
チゼル径 [φmm]	40	40	45	61	85	110
取付ショベルクラス [ton]	0.7~1.5	1.0~2.0	1.8~2.5	2.5~3.5	5~9	10~15

※1 TOP-205Jの打撃数は標準と高速の2段切り替えができます。高速は500~560bpmです。

※2 okada 10000の打撃数は標準と高速の2段切り替えができます。高速は320~520bpmです。





**TOP-210B**

**TOP-300B**

**TOP-400B**

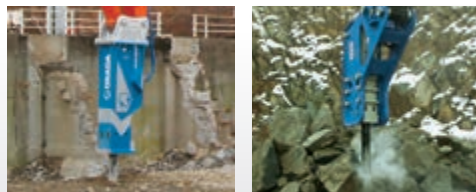
**TOP-800B**

**okada 10000**

TOP-800は、  
たて型ブラケットです。

大規模破碎作業に適した

## 大型油圧ブレーカ



パワフルな打撃力をもつ大型油圧ブレーカ。  
強力な破碎力で、大規模工事、鉱山、大型砕  
石場などで威力を発揮します。

TOP-203B	TOP-205J	TOP-210B	TOP-300B	TOP-400B	TOP-800B	TOP-1000J	okada 10000
アキュムレータータイプ							
1500	1650	1680	2600	3750	5600	6800	7000
2205	2284	2330	2787	3089	4420	4400	4256
466	420	466	534	590	690	600	608
14~18	15~18	14~18	14~18	14~18	15~18	17~20	17~21
120~160	110~135	120~160	160~215	280~350	280~380	350~420	360~450
430~570	360~430*1	310~430	280~410	320~390	260~360	200~280	280~350*2
135	135	135	155	169	189	210	205
19~23	20~23	20~23	30~41	40~50	60~80	75~100	60~100



# 超低騒音油圧ブレーカ OKADA “S” SERIES

不快な高音を抑え、

NETIS登録番号  
CG-100029-VE



**S-60**



**S-100B**



**S-205J**



**S-210B**



**S-300B**

## 仕様

	<b>S-60</b>	<b>S-100B</b>	<b>S-205J</b>
総質量(ブラケット・チゼル付) [kg]	450	1100	1870
全長(ブラケット・チゼル付) [mm]	1776	2144	2483
全幅(ブラケット先端) [mm]	254	346	418
作動油圧 [MPa]	12~16	14~18	15~18
消費油量 [ℓ/min]	48~80	80~115	110~135
打撃数 [bpm]	730~970	550~710	360~430*
チゼル径 [φmm]	85	110	135
取付ショベルクラス [ton]	6~9	12~15	20~23

\* S-205Jの打撃数は、標準と高速の2段階切り替えができます。高速は500~560bpmです。

## 新開発低騒音、低振動ブラケット

- ボックス構造フレームの採用により、低音とともに特に不快に感じる高音の打撃音(高周波音域)の低減に成功しました。
- 特殊ダンパーでブレーカ本体を包み込む静音設計により騒音と振動も抑制。



▲ **S-100B**

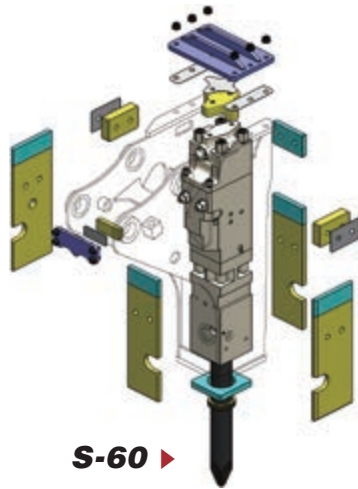


▲ **S-300B**

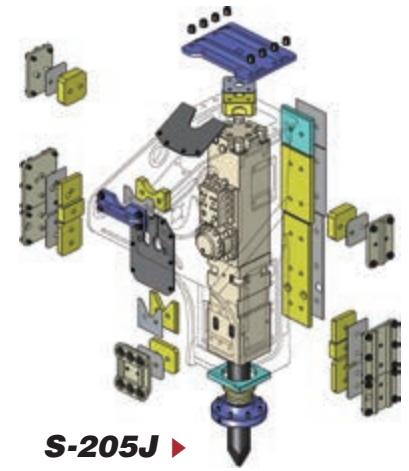


# 人と環境に優しい設計

## Sシリーズ 構造図

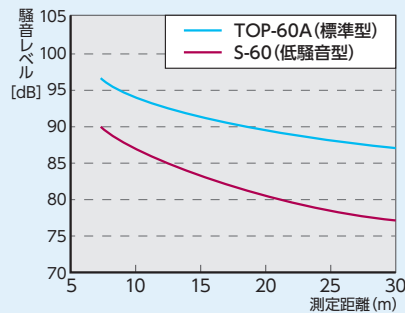


S-60 ▶

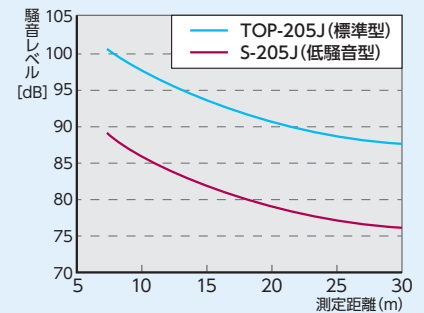


S-205J ▶

### S-60 騒音レベル比較 [dB(A)]



### S-205J 騒音レベル比較 [dB(A)]



※騒音レベルは当社の基準により測定したものであり、実際の作業時には異なる場合があります。



S-400B

S-210B	S-300B	S-400B
1935	2945	4150
2581	3024	3337
418	488	524
14~18	14~18	14~18
120~160	160~215	280~350
310~430	280~410	320~390
135	155	169
20~23	30~41	40~50

## メンテナンス性が飛躍的に向上

- サイドロッドの点検・増し締めが外から行なえ、これまで容易ではなかった交換作業も現場にて短時間で可能になりました。
- ブラケットの側面に大きな点検口を設け、点検、修理作業などのメンテナンスが容易にできるようになりました。



▲ サイドロッドの点検・増し締めが可能



▲ メンテナンスがしやすい大きな点検口 (S-100B以上)



# 油圧ブレーカ OKADA “TOP V” SERIES

オカダアイヨンのテクノロジーを  
結集した最新型ブレーカー



**TOPV-30**



**TOPV-50**



**TOPV-70**

仕様	TOPV-30	TOPV-50	TOPV-70	TOPV-100
総質量(ブラケット・チゼル付) [kg]	220	285	380	775
全長(ブラケット・チゼル付) <sup>※2</sup> [mm]	1326	1509	1572	1978
全幅(ブラケット先端) [mm]	195	215	225	275
作動油圧 [MPa]	11~16	11~16	11~16	14~18
消費油量 <sup>※1</sup> [ℓ/min]	35~50	35~55	48~70	70~110
打撃数 <sup>※1</sup> [bpm]	850~1150	600~850	740~950	550~800
チゼル径 [φmm]	60	68	74	105
取付ショベルクラス [ton]	2.5~3.5	4~5.5	5~7	9~15

※1 油圧及び打数は、油温50~60℃においての上記作動油圧における平均値を表示しています。また、油圧ショベルの性能、配管等によっても異なる場合があります。ご使用時は仕様作動油圧範囲となるよう油量調整願います。  
 ※2 全長は、標準チゼルを押し込んだブレーカ本体のみの値です。

## 開発コンセプト

- 都市部での騒音の規制は将来的により強化されていくものと考えられます。そのため、今後の都市土木では静かな標準機が必要になるという考えに基づき、今回のVシリーズが誕生いたしました。

## デザインの一新

- 今までの形状を一新し、欧州風の丸型を採用した斬新なデザイン。

## メンテナンス性の向上

- フロントボルト、サイドロッドが不要になり、増し締めや折損のリスクがなくなります。



# 超低騒音油圧ブレーカ

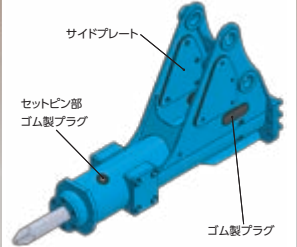
## OKADA

## Sシリーズを超えた超低騒音

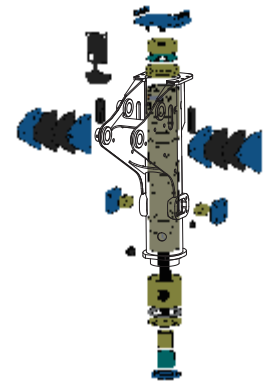
# “TOPV-SS” SERIES



TOP V(SS)シリーズ 超低騒音型 外観



TOP V(SS)シリーズ 構造図

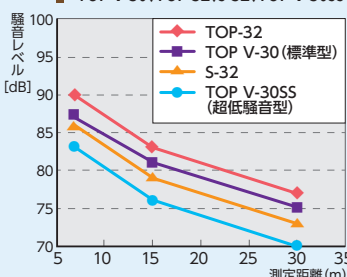


### 仕様

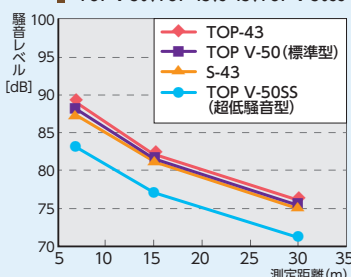
	TOPV-30SS	TOPV-50SS	TOPV-70SS	TOPV-100SS
総質量(ブラケット・チゼル付) [kg]	248	314	425	822
全長(ブラケット・チゼル付) [mm]	1326	1509	1572	1978
全幅(ブラケット先端) [mm]	240	240	290	380
作動油圧 [Mpa]	11~16	11~16	11~16	14~18
消費油量 [L/min]	35~50	35~55	48~70	70~110
打撃数 [bpm]	850~1150	600~850	740~950	550~800
チゼル径 [φmm]	60	68	74	105
取付ショベルクラス [ton]	2.5~3.5	4~5.5	5~7	9~15

TOP V(SS)シリーズ、標準型、超低騒音型との騒音値(TOP、Sとの比較)

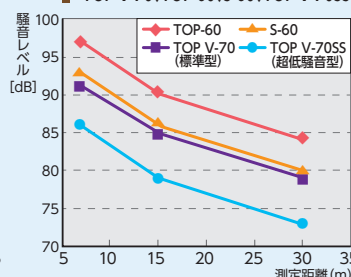
TOP V-30、TOP-32、S-32、TOP V-30SS



TOP V-50、TOP-43、S-43、TOP V-50SS



TOP V-70、TOP-60、S-60、TOP V-70SS



- TOP Vシリーズ超低騒音型は、Sシリーズよりも騒音値が低い。
- TOP V-30、50標準型はSシリーズよりも騒音値が高いがほぼ同程度。
- TOP V-70は標準型でもS60よりも騒音値が低い

※騒音レベルは当社の基準により測定したものであり、実際の作業時には異なる場合があります。



# 特殊仕様

作業環境に合わせてご要望ください。

## 縦型ブラケット



## 水中仕様



ブレーカ内部にコンプレッサーでエアーを供給し、水の侵入を防ぐことにより、水中での破碎作業が行えます。(TOP-100~800)。  
※エアーコンプレッサーが必要です。

## オートグリス



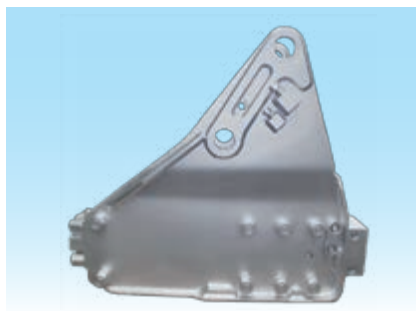
電気配線を必要とせず、TOP-100以上に取り付ける事ができ、タガネやブッシングの長寿命化を図り、メンテナンスのための休止時間を削減します。  
取付シヨベルを選ばず、稼働時間中だけ給脂します。(市販のカートリッジグリスを使用可能)

## チルト式ブレーカー (TOP-60A)



- ピンの差し替えによって傾斜角15度での打撃が可能です。
- 溝掘り用の狭い場所でも打撃が行えるよう縦型ブラケットを採用しています。

## 耐熱ブレーカー 《耐熱性に優れた専用のシールを使用し耐熱温度を向上させております。》



### 塗 装

- 耐熱塗料に変更  
高温からブラケット、本体を保護するため特殊塗料で塗装しています。



### ホース

- 油圧ホースを耐熱仕様のホースに変更  
高温に晒されるホースを保護するため、耐熱用に特殊加工を施したホースを使用しています。

## 多彩なタガネ

用途に応じて、様々なタイプのタガネを選べます。  
(内部部品の損傷を防ぐため、オカダの純正タガネをご使用ください。)



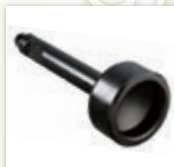
P ポイント



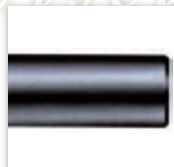
芯入りタガネ



FX フラット(ヨコー文字)  
FY フラット(タチー文字)



特殊タガネ



E エンド

## オカダ アタッチメント グリース NLGI No.2

新登場

アタッチメントに専用グリスが、オカダアイオンから登場です。

大切なアタッチメントだからこそアタッチメントに、ご褒美! 作業がより効率的と、修理費用の軽減に一役買います。

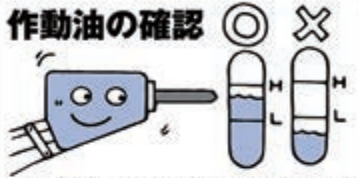




# 油圧ブレーカ使用時のご注意

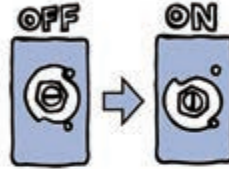
保管時・始業前に下記の事項を必ず行ってください。

## 作動油の確認



- 始業前に、作動油が入っているか、汚れていないか確認してください。
- 作動油は600時間毎、オイルフィルターは100時間毎に交換してください。

## ストップバルブの確認



バルブは必ずONに合わせてください。

## ボルト、ナット、ホースの点検

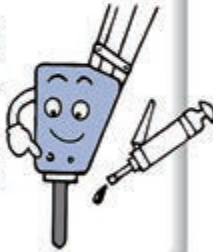
ボルト、ナット、ホースがしっかり取り付けられていることを確認してください。

※ボルトの締付けは交互対角・均等に行ってください。



## グリスアップをしてください

- 作業中は2時間おきに、チゼル部に5～6回グリスアップしてください。
- チゼルはしっかり押し込んでから入れてください。



## 暖機運転をしてください

ブレーカ使用時の適正油温範囲は50～80℃です。

ブレーカを初めて使う時や、毎始業時には、10分程度垂直に、7割程度のエンジン回転数で、ならし運転を行ってください。



## 保管時はタガネを下向きに

作業終了時は、雨水によるサビからピストン・シールを保護するため、タガネを下に向けて保管してください。

ブレーカー内部の雨水滞留は危険!



下記の事項を必ず守って作業してください。

## 破砕物に急激に当てない

ショベルもブレーカも壊れることがあります。



## 連続して押力を加える

チゼルが抜けると打撃できません。



## 割れたらすぐにストップする

空打ちが多すぎると各部が傷みます。



## こじりながら打たない

チゼルが折れることがあります。



## 同じ場所を1分間以上打たない

油温が上昇してシールが痛むことがあります。



## ストロークエンドにして打たない

ショベルが壊れることがあります。



## フロントキャップを水や泥などにつけない

※水中使用時は改造が必要です。

ショベルもブレーカも壊れることがあります。



## 物を吊って作業しない

クレーン作業は禁止されています。





# オカダ アイヨン 株式会社 [www.aiyon.co.jp](http://www.aiyon.co.jp)

本社営業部	〒552-0022	大阪府大阪市港区海岸通4-1-18	TEL:06-6576-1273	FAX:06-6576-1516
東京オフィス	〒100-0013	東京都千代田区豊洲2-6-26東京豊洲ビルディング13階	TEL:03-6268-8895	FAX:03-6268-8896
東京本店	〒175-0081	東京都板橋区新河岸2-8-25	TEL:03-3975-2011	FAX:03-3979-3477
関西支店	〒552-0022	大阪府大阪市港区海岸通4-1-18	TEL:06-6576-1261	FAX:06-6576-1260
札幌営業所	〒001-0931	北海道札幌市北区新川西一条1-1-36	TEL:011-766-2666	FAX:011-766-2665
盛岡営業所	〒028-3621	岩手県紫波郡矢巾町広宮沢第7-10	TEL:019-611-0080	FAX:019-611-0078
仙台営業所	〒984-0002	宮城県仙台市若林区卸町東5-2-33	TEL:022-288-8657	FAX:022-288-8689
横浜営業所	〒224-0053	神奈川県横浜市都筑区池辺町3925	TEL:045-530-3044	FAX:045-530-3065
中部営業所	〒503-0946	岐阜県大垣市浅中3-131-1	TEL:0584-89-7650	FAX:0584-89-7665
北陸営業所	〒920-0356	石川県金沢市専光寺町ヨ67	TEL:076-254-5518	FAX:076-254-6987
広島営業所	〒738-0021	広島県廿日市市木材港北6-65	TEL:0829-30-7892	FAX:0829-30-7836
四国営業所	〒791-8042	愛媛県松山市南吉田町2051-1	TEL:089-971-9791	FAX:089-971-9750
九州営業所	〒816-0912	福岡県大野城市御笠川2-4-8	TEL:092-503-3343	FAX:092-504-0092
海外事業所	〒552-0022	大阪府大阪市港区海岸通4-1-18	TEL:06-6576-1268	FAX:06-6576-1516

- このカタログに掲載した仕様は、改良のため予告なく変更することがあります。
- このカタログに掲載した写真は、販売標準機と一部異なることがあります。
- 油圧ブレーカを使用する際には、「車両系建設機械運転技能講習修了証」の(解体用)と(整地・運搬・積込及び掘削用)の両方が必要です。
- 正しく安全にお使いいただくために、ご使用前には、必ず「取扱説明書」をよくお読みください。